

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

世界へのプレゼント になろう

第 2613回 例会
平成27年12月18日(金)
天候 晴れ
合唱 それでこそロータリー
四つのテスト

会長 佐藤 泰文

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

幹事 山本 明峰

例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

昨日、地区会長幹事会があり、その報告です。IMの会場下見を兼ね湯本富士屋ホテルで行われました。

- ①青少年交換留学生の募集は17名あり試験と面接で、2・3・9グループの8名に決定しました。試験は、英語、数学、作文と面接でしたが、今年は試験の成績で差があり偏った結果となり、選考基準や応募基準を事前に明確にする必要があるのではと、懸念となりました。当地区では2名合格で、ブラジル、オーストラリアに決まり、今年はロシアの派遣は見送られました。
- ②クラブ独自の新入会員案内パンフレットを地区ホームページに掲載しますので、制作企画に参考出来ます。
- ③「まちの情報紙ポスト」に1月8日付にクラブ合同で掲載します。
- ④ソウル国際大会登録状況は、500名弱で、目標の600名を達成するよう再度呼びかけをお願いしますとのこと。
- ⑤IM実行委員会報告で、講演会に中桐万里子さん(二宮尊徳7代目子孫)を講師として招きます。講演会は一般の方も参加できますから募集して下さい。
- ⑥ポリオ・箱根キャンペーンは、箱根湯本駅前と、小田原駅アークロードの2ヵ所で行うことになりました。募金箱は各クラブ3個配布し、ロータリアンの事業所で募金活動をお願いし、次回会長幹事会で回収します。ポリオについて、ポリオを知らない世代にも解るようなアピールが必要であるとの指摘がありました。

幹事報告

ガバナーより

1. 2018-19年度のガバナーノミニニーが確定致しましたので確定宣言を略歴と一緒に送らせていただきます。尚、2016年6月30まではガバナーノミニニーデジグネートと呼ばれることになります。
2. 次年度地区カレンダーを作成する上で、貴クラブにて2016年7月1日~2017年6月30日までの間に予定されている創立記念行事、IM、開催等予定されている行事と次年度の会長・幹事のお名前をご記入いただき、12月25日(金)までにガバナー事務所へお知らせください。又、クラブ公式訪問の日程についてのご希望がありましたら、備考欄にご記入ください。尚、行事予定のないクラブも必ずご返送ください。
3. 会員増強に関するアンケートのお願い
回答期限：1月6日(水)

連絡事項

1. 次週はクリスマスケーキをお配りしますので皆様欠席なさらないようお願いいたします。

スマイルBOX

結婚記念日 渡辺久恭君(12/20)
杉山茂久君 孫の瑠梨が約1年間のオーストラリア留学を終えて無事に帰国しました。

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 23名
	欠席 4(免除者 2名)		出席率 90.48%
	前回の修正出席率 82.61%	前々回の修正出席率 90.91%	

事前メイクアップ 1名

卓 話

常盤 章夫 君

湯河原南 RC 設立 1970 年 4 月 11 日 (昭和 45~46 年・36 才)

1970 年 4 月 (入会年度) 会長 檜原 正愛さん
1978~1979 年度 会長 五味 淳芳さん
幹事 常盤
1991~1992 年度 (23 代) 会長就任
幹事 力石 吉郎さん
(真鶴・歯科医)
2007~2008 年度 (39 代) 会長
2009~2010 年度 (41 代) 会長
2010~2011 年度 (43 代) 閉会となる

ロータリーに誘われた時、二見昭氏が来宅し、『ロータリーを知っているか』と問われ、駅前ロータリーのことかと思い、『よく知っている』と答え、36 才で入会した。

1969 年、10 名の方々が湯河原 RC を退会 (分かれて) 湯河原南 RC 設立の為、新会員を募った。

創立以来 2010 年まで存続していたが、会員の減少により運営困難となり、閉会した。

その後、5 名が残留を希望し、湯河原 RC に入会させていただいて、現在に至っている。

平間 章弘 君

私がロータリークラブという組織を知ったのは、8 歳位の時だったと思います。私の記憶では、父が井戸倉の加藤さんに誘われて、チャーターメンバーになった事がロータリーとの出会いでした。小学 3 年生だった私は、当時の湯河原町の錚々たる方々が、名前も知らない様なクラブ設立の為に東奔西走している様子に、とてもワクワクした事を覚えています。当時若かった父も、忙しい仕事の合間を縫って色々動き回っていた事が懐かしい思い出です。

やがてロータリークラブが結成され、金曜日に観光会館で例会が行われる様になりました。(当時はまだ仕出しをとってのお昼食でした。) その後父は金曜日の 11 時半頃になると仕事を急いで終えて例会に向かうという事が、毎週の義務となり、これは父が死ぬまで、仕事以上に大切な行事でした。でも、私自身は湯河原ロータリークラブの今なお受け継がれている独特な雰囲気というものは、たまに両親が話す内容から想像する程度で、あまり意識した事はありませんでした。ただ一度だけ、湯河原クラブが結成されて 2 年くらいした頃に、父に湯河原カントリークラブで行われた家族親睦を兼ねたクリスマスパーティに連れて行ってもらった事があり、とても華やかで自由な雰囲気の中に、凜とした規律というものを感じ、子供心に『ロータリーってよくわからないけど、なんかすごいなあ!』と思った事が、この歳になっても忘れられない思い出です。

こんな私ですが、父の葬儀の時に会長から勧誘され、何も考えずに入会し今に至ります。

入会后初めて例会に出席するために、当時例会場となっていた天野屋さんに緊張しながら行ったことは、今でも昨日の様に思い出されます。

先日、家内とお店でコーヒーを飲んでいたときの事、私達の後ろに杖をついたご高齢の男性が娘さん家族と楽しそうに会話しているのがふと耳に入りました。

「パパ、長い間ロータリーに入っていて良かったわね。」
「うん。ロータリーに入って違う職業に人達に出会えた事で、仕事の上でも人生においてもプラスになり、本当に有り難かったよ。」と感慨深く話しておられるその内容に、深く共感いたしました。

このロータリー歴の長いであろう先輩のお言葉は父もよく言っていた言葉であり、私も常日頃から思っている言葉でした。

これからもロータリーの活動を通じて、仕事や人生に益々反映させたいと思います。

常盤会員卓話



例会風景

